



心豊かな

安全安心の町づくり

吉岡町長 石関 昭

町民皆さまとともに、輝かしい新年を祝福できますことを心より喜び申し上げます。私たちは、1年の始めに家族が皆そろって祝うお正月があります。

前の年を振り返り見つめ直して新しい年の計画をスタートさせる節目にも当たる良い機会として新年を迎えます。年が改まる新年は心機一転の好機でもあり、たいへん意味深いものがあります。

私も心を新たに「心豊かな安全で安心して暮らせる町づくり」を目指して、町民の皆さまがこの町に住んで良かった。子供たちもこの町にずっと

と住んでいたい、と思われるような町にできるように、暮らしの基本設計を常に見つめなおして、皆さまの生活がより向上できますよう努力してまいります。

さて、昨年4月から自治会・連合会制度へ移行しました。自治会には「地域の人たちが自分たちの地域は自分で守り、育てる、協働の町づくり」ということ期待するものであります。

町と自治会が互いに連携・協力して皆さまの暮らしやすい生活環境を目指していくことが大きな目的でもあります。すでにそれぞれの自治会が

意義ある活動を展開しております。福祉ネットワーク事業と連携しながら、以前よりもより充実した高齢者対応や防犯対策、児童福祉の活動に取り組みまれており、特に資源ごみの回収などには大きな実績を上げておりまして、ご同慶に堪えないところであります。町民皆さまのご協力を得ながら更なるご活動を期待しているところです。

また、昨年は女性防火クラブがおよそ160人の会員によって発足され、予防消防の啓発活動をはじめ、心肺蘇生法の勉強などに取



新年の
あいさつ

議長

栗田 政行

新年明けましておめでとうございます。ご家族皆さまと輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

政局を1年振り返ってみると、1月に新テロ対策特別措置法を「ねじれ国会」のため衆議院の再可決で成立させてから、道路特定財源、年金記録、後期高齢者医療制度など、数々の問題が重なり内閣の支持率が下がってしまいました。

このため、昨年の9月には、本県選出の福田康夫首相が突然、辞意を表明し、首相が2代続けてわずか1年で代わってしまいました。7月の洞爺

湖サミットでは議長を務め、8月には内閣を改造し、これからだと思っていたのに残念でなりません。

また麻生新内閣では、中曽根弘文先生（外相）、小淵優子先生（少子化担当相）が就任しました。

世界の経済は米国のサブプライムローン問題に端を発し、アメリカ証券大手のリーマン・ブラザーズが9月に経営破綻し金融不安が一気に世界に広がり株価が暴落しました。さらに、ほぼ全産業の業績が急速に悪化し世界同時不況に陥ってしまいました。国内においても、原油先物



り組んでいただいています。

消防団とともに、安心の町づくりのために今後のご活躍を期待しているところです。

さて、吉岡町は昨年群馬県で1番が4つありました。①出生率1・14②男性の長寿79・6歳③人口の伸び率2・01④町の職員は106人で職員一人あたり町民179人。全国で1番もあります。ETC駒寄スマートIC平均利用台数4,300台/日。多いときは5,300台/日のときもあります。

県や周辺市町村との連携を深め、駒寄スマートICを大型車が利用可能となるようにすること、アクセス道路網の整備によって優良企業などを積極的に誘致して周辺地域の活性化に努めます。

国道17号の前橋・渋川バイパスの工事も順調に進んでいます。漆原に予定している道の駅「よしおか温泉」の場所がほぼ決定し、運営の方法など具体化策について検討を重ねているところです。施設的设计業者の選定については昨年10月18日に町民に公開して行ったプロポーザルで指名した7社からのプレゼンテーシ

ョンおよびヒアリングによって委託業者を選定しました。

結果、よしおか温泉リバーピア吉岡と天神東公園の活用も含めて、エネルギーテーマパーク・風力発電所・水力発電所まで取り込んだ構想を発表した設計者に決定をしました。周辺の環境や町の将来構想も考慮されたものであり、将来が楽しみです。

建設される物産館では、単なる通過点の休憩所でなく、地場野菜を中心とする「地産地消」を第一目的ととらえ、それにふさわしい町の特産物の直売を考えた経営が期待されます。

また、漁協と手を結び新鮮な魚が並ぶのも夢ではありません。これらのことから、「よしおか温泉リバーピア吉岡」の集客力も大幅な向上が期待されます。

さて、昨年も吉岡中が文武両道の成果をあげています。文化面では吹奏楽部が県コンクール銅賞・アンサンブルコンテスト木管八重奏金賞、合唱部がNHKコンクール銀賞・TBSコンクール優秀賞、文芸部細矢萌くんが全国小中学校作文コンクール県大

会最優秀賞に輝きました。

武の面では、関東大会に男子バレーボール・サッカーが第3位、陸上棒高跳び田中巨くんが準優勝、卓球女子シングルス森川春花さんが二回戦へ。全国大会は、サッカー二回戦、棒高跳び田中巨くんが準優勝、駅伝男子チームは県で4年連続優勝し、山梨県で行われた関東大会ではみごと優勝という輝かしい成績を収めました。そして12月21日には、山口県で行われた全国大会にも出場しました。

これらのすばらしい成果は、心豊かな町づくりの厚い基礎になると確信しています。

毎年、町民の皆さまに夢と希望を与えていただいていることに心からお礼申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健康とご清福をご祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。

平成21年正月

市場に投機マネーが流入したことにより、春先からガソリン価格が急騰し、8月上旬には過去最高を記録し、その後急落しました。不況で仕事も急減し、先の見えない状況が続きます。

しかし明るい話題では、オリンピックのソフトボール女子決勝で、上野由岐子投手が、2日間3連戦を1人で「413球」を投げ抜いたことが、今でも感動として心に残っています。

町のことを振り返りますと、人口は順調に伸び11月には、1万9千人を超え、県内の市町村の中での伸び率はトップです。このため、平成16年に完成した駒寄小学校も、特別教室を普通教室に変え、授業を行っている状況です。

これからも、人口の伸びが予測され、小・中学校の増築や、老朽化した中学校の体育館の建て替えも考えなくてはなりません。

平成22年春開通予定の前渋バイパスは、順調に工事が進んでおり、アクセス道路「漆原南原線」も発注になりました。また、道の駅「よしおか温泉」もプロポーザルによつ

て設計業者が決まり、設計に入っています。物産館は、設立総会も皆さまの協力により無事に済み、22年4月オープンの向けて準備が進んでおります。

駒寄パーキング周辺整備では、アクセス道路(仮称)「赤城榛名広域道路」の大松交差点から西へ850mを、県が第一期工事とし、地元説明会を行い現在測量実施中です。なお県道高渋線は南から工事が進んでおります。

自主財源である町税は、人口の増や開発が進むなかで、20億を超えました。一方、国保の歳出総額も十二月補正後で、18億5千万円。介護保険の歳出総額も12月補正後で、約8億5千万円と伸びています。

今年は政局の混迷と、景気がより悪化すると思われますが、町民皆さまと一丸になって頑張りたいと思います。今年が良い年になりますようご祈念申し上げ新年のあいさつと致します。

平成21年正月